

中国地方における地域と企業の協働による地域づくり展開可能性調査

第I章 地域と企業等による地域づくり事例研究（ヒアリング調査）

鳥取・島根両県内で、地域と企業（民間企業、NPO、第三セクター等）が連携・協働した地域の活性化や地域課題の解決を図る取り組みに着目

《ヒアリング先》
 えーひだカンパニー（株）、安来市役所、邑南町役場、
 （一社）邑南町観光協会、（株）ふるさと鹿野、NPOいんしゅう鹿野まちづくり協議会、（株）シマネプロモーション、NPOてごねっと石見

① えーひだカンパニー（株）の取り組み

- ・住民が立ち上げたまちづくり会社
- ・自治機能と生産機能が織りなす持続可能な地域づくりの展開
- ・多様な人材の参画、地元団体・企業・行政との連携による強固なネットワークの構築

② 邑南町における取り組み

- ・A級グルメ構想を核とした域内循環モデル
- ・住民による地区ビジョン・アクションプランの策定と持続的な事業展開
- ・地域おこし協力隊制度等の有効活用により、UITターン者が増加

③ 鹿野町における取り組み

- ・街なみ・景観づくりを核とした住民主体の地域づくり
- ・空き家活用による賑わいの創出
- ・域内外とのネットワークにより、関係人口の拡大を目指す

④ （株）シマネプロモーションの取り組み

- ・地域のブランディングから発信までのトータルプロデュース
- ・地域密着と外者目線による課題整理・解決
- ・山陰の産品を発信する独自のコンテンツソリューション（ギフトサービス）を展開

第II章 最近の社会動態が転入超過の基調にある自治体ヒアリング調査

最近5年間の社会動態が転入超過基調にある自治体における地方創生の取り組み、転入超過の背景、企業との連携の有無に着目

自治体名	平成24～28年の転入超過人数
島根県	海士町 58人 知夫村 26人
鳥取県	伯耆町 35人

《ヒアリング先》
 海士町役場、知夫村役場、知夫里島開発（株）、伯耆町役場

① 島根県海士町における取り組み

- ・島消滅の危機を経て、財政再建のための行財政改革を断行
- ・行政の厳しい取り組みにより、島全体で危機感を共有
- ・官民の連携（公設民営）で生まれた産業と雇用の創出
- ・教育のブランド化による人材育成・輩出

② 島根県知夫村における取り組み

- ・知夫村版「働き方改革」マルチワーク（多業）の推奨
- ・義務教育の魅力化による地域と人材づくり
- ・行政主導による住環境整備と雇用の創出（＝受け入れ環境の整備）

③ 鳥取県伯耆町における取り組み

- ・住民の生活満足度向上に係る施策の展開
 事例：フィットネス&スタジオ パル

SWOT/クロスSWOT分析

《各事例の成功要因》

- ・地域での危機感の共有
- ・地域の多様な人材による地域ビジョン・計画の策定
- ・行政の明確な構想と発想の転換
- ・官民の連携
- ・町内外の交流と関係人口の拡大
- ・域内循環の実現 等

《各事例の成功要因》

- ・地域での危機感の共有
- ・外者目線と地域資源の整理と活用
- ・制度の有効活用
- ・官民連携による生業（なりわい）の創出
- ・移住者を受け入れる環境整備 等

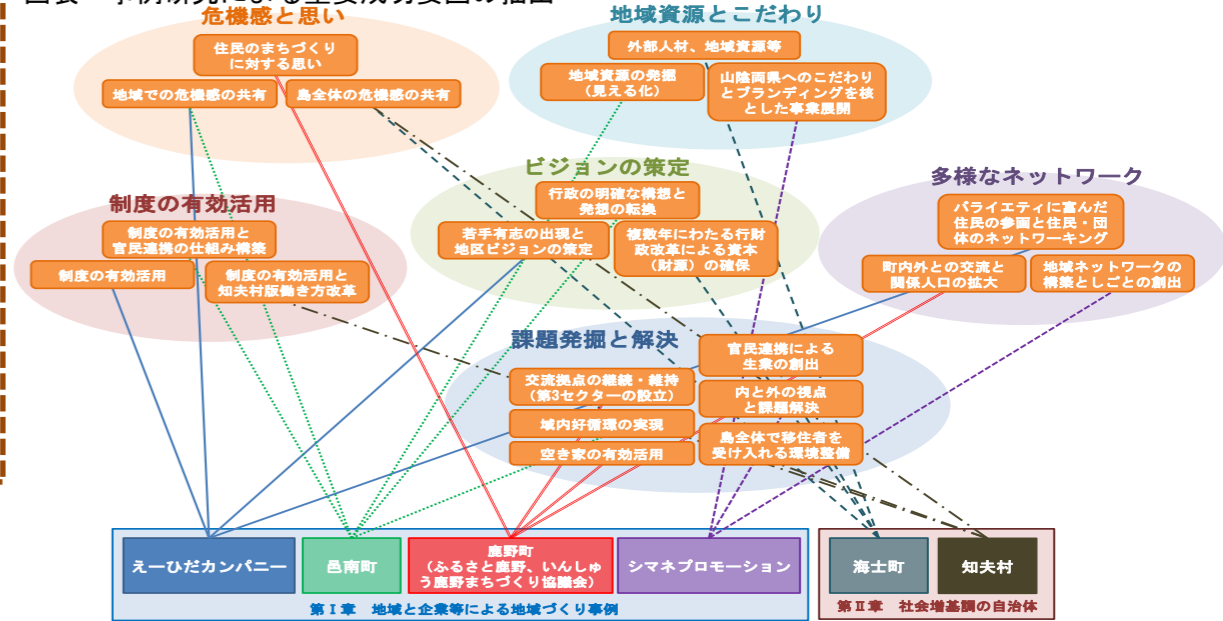
事業の経緯や事業が地域に与えたインパクト等、各事例の中に共通する項目がうかがえる

第三章 事例研究および自治体ヒアリングにおける重要成功要因（CSF）の考察

事例研究および自治体ヒアリングの整理・分析により、地域と企業の連携・協働による地域振興に共通する重要成功要因を抽出

山陰両県の各地の事例は、人口減少、少子高齢化等の課題に立ち向かうために地域全体で捻出したひとつの「解」
「地域との共有価値の創造」

図表 事例研究による重要成功要因の抽出



第四章 地域と企業の協働による地域づくり展開の可能性の考察

調査の結果を踏まえ、地域と企業の連携・協働を進める際の課題、連携・協働を促進するための条件、そうした取り組みを持続可能なものにしていくための方策などを分析・整理し、地域と企業の連携による新しい地域づくりの展開可能性について考察

《課題解決型ビジネス》

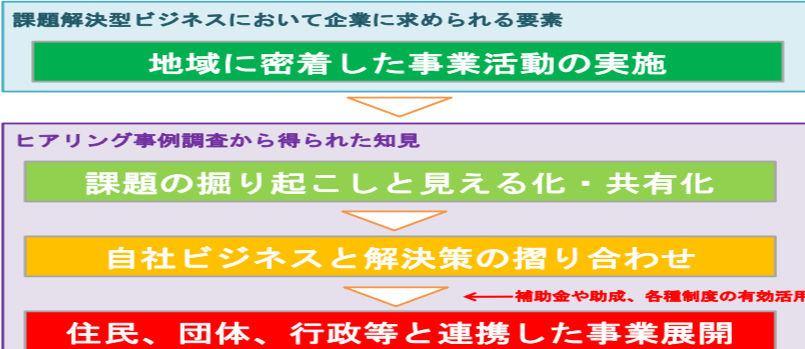
- ・企業としての価値
 活動を通じて一定の収益を確保
- ・社会としての価値
 消費者（地域住民）や従業員等が求める社会的な課題への対応

企業が地域で存続するためには、どちらの価値も重要で、二つの異なる価値を一つの戦略・活動を持って共有する
＝共有価値の創造

地域課題をビジネスチャンスとして捉え、**地域に則したオーダーメイドな事業展開**が求められる

人口減少や少子高齢化に打ち勝つ持続可能な「地域づくり」には…
「発想の転換（市場の質の変化を察知）」
「地域との共有価値の創造」
「課題解決型ビジネス展開のプロセス」 が重要

図表 課題解決型ビジネス展開のプロセス



図表 地域との共有価値の創造

